

接種ワクチン 知的、精神障害も優先 厚生科学審議会が了承

厚生労働省は18日、新型コロナウイルスのワクチンを優先接種する基礎疾患の対象として、新たに重い精神疾患や知的障害のある人を加えることを決めた。感染リスクや感染した場合の死亡リスクが高いことが、海外の研究成果などから判明した。優先接種の対象人数はこれにより約210万人増え1030万人になる見込みだ。

同日の厚生科学審議会部会では了承を得た。内訳は精神障害者保健福祉手帳の保持者14万人、療育手帳を持つ18歳以上の知的障害者86万人、精神疾患を持つ入院患者12万人。

ワクチンは現在、医療従事者ら470万人への接種が進められており、4月に高齢者3600万人への接種が始まる。その後、基礎疾患のある人への接種に移る。対象は糖尿病、がんのほか重症心身障害など。厚労省はこれまで820万人と推計していた。(福田敏克)

ワクチンは現在、医